

科目名	公衆衛生	時期	時間	単位	
担当教員	非常勤講師	2年次	前期	30時間	2単位
科目設定理由	公衆衛生学は生活者の健康の維持・増進を目的に、常に個々の住民の要請を捉えつつ、広く地域に対する政策から実施に向けた活動をするための実践的学問であり、公衆衛生の活動には多職種の連携が不可欠である。そこで、21世紀の健康社会実現に向けた保健・医療・福祉、そして環境の総合的な理解と、身近にいる生活者の健康の保持・増進のための活動が理解できるよう当該科目を設定した。				
学習目標	人々の健康を維持するための公衆衛生活動の特性と組織的な保健活動について理解する				
授 業 計 画					
回数	項目	内 容			備 考
1~9	公衆衛生を学ぶにあたって ～公衆衛生のエッセンス～	1 公衆衛生とはなにか 2 公衆衛生の歴史			講義
	公衆衛生の活動対象	1 社会集団をとらえる視座 2 社会集団の中にある特定集団			
	公衆衛生のしくみ	1 政策展開 2 国と地方自治体の役割 3 専門職の役割・多職種協働 4 住民との協働			
	疫学・保健統計	1 集団としての健康 2 記述疫学・分析疫学 3 疫学の応用			
	環境と健康	1 地球環境と健康 2 生活環境と健康			
	感染症対策	1 感染症の基礎 2 わが国の感染症対策 3 公衆衛生上重要な感染症対策			
	国際保健	1 経済格差と健康格差 2 国際保健の共通目標			
	学校と健康	1 学校における健康と学校保健の展開			
	健康危機管理・災害保健	1 健康危機管理 2 災害保健			
10~14	地域保健	1 母子保健 2 成人保健・高齢者保健 3 精神保健 4 歯科保健 5 難病支援・障害支援			講義
	職場と健康	1 職場における健康と産業保健			
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生	神馬 征峰 他		医学書院	
参考図書・資料等					
評価方法	筆記試験				